



セイヨウシャクナゲ

[西洋石楠花]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 外来種・園芸品種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

中国・ネパールの自生種は高山に育つため、高温に弱く土壌pHが合わないと衰退する。欧米で庭木として育てられるよう改良が重ねられ、今ではセイヨウシャクナゲ名で多様な園芸品種が流通している。夏期に高温になる日本では、その土地に合った品種を選択するとよい。



Memo

‘西洋’とつくが、原産地はヒマラヤ周辺。19世紀にヨーロッパに渡り品種改良が重ねられた。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実					(花後にできる蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)								
紅 葉													
施 肥		■							■				
剪 定							■ (花後早めに)						
★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)													

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壤	乾		○	○	湿
寒 さ	強	○			弱
暑 さ	強			○	弱
潮 風	強			○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

夏は半日陰になる環境が適している。根に直射日光が当たると高温障害を起こしやすいため、マルチング材などで覆い保護する。酸性土壌を好むので鹿沼土やピートモスで調整するとよい。

剪 定

生長は比較的遅く枝先に花をつける。刈り込まずに整枝程度にすると花をたくさん咲かせる。花後、花殻を取り除き、飛び出した枝を切り戻す程度で自然に樹形が整う。

病虫害

ハマキムシ、グンバイムシなどツツジ科植物共通の被害を受ける。風通しが悪いとカイガラムシが発生、夏の強い日差しを受けると褐斑病など葉に病害を生じやすい。